

広報よもぎた

内 容

- 81年の展望・市町村計画策定……………2～3
- 冠婚葬祭合理化運動を推進……………4～5
- 行政懇談会・住民の声を行政に……………6～7
- 話題の広揚・村民祭・もちつき大会……………8～10
- 郷土の歴史……………11
- くらしのコーナー・ねたきり病人の看護法
国保と交通事故・消防団活動……………12～13
- 談話室・ヤングメッセージ・子ども会通信
戸籍の窓口……………14～16

NO.136



待望の保育所完成!

明るい環境で
いきいき
のびのびと

施設の老朽化により、全面解体、改築工事が進められていた蓬田保育所が完成し、昨年十二月二十三日に落成式が行われました。
南向きに建てられた施設は、非常に明るいふん囲気があります。太陽の光がいきいき、のびのびと生活できるように、楽しくくふうもされています。
心の面でも体の面でも、もつともたいせつな成長時期にあるみなさま方の子どもをあずかる保育所。所長さんはじめ職員のみなさんは、「明るく、強く、のびのびした子ども」を目指そうとはりきっています。
保育所であった旧中沢小学校の玄関は、明治以来の文化財的建物であり、「旧中沢小学校記念館」として内部に記録を保存し、後世に伝え残すことになりました。

1 月
1981

市町村計画を策定

1. 市町村計画とは

昭和四十四年の地方自治法改正により、「市町村は、その事務を処理するに当たっては議会の議決を経て、その地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならない。」という規定が追加されました。この規定制度

の趣旨は、およそ、次のようなものです。

今日の急激な社会経済の変動の中にあつて、市町村が多岐多様な住民の要求に応え、適切な行政任務を果たすためには、将来を見通した長期にわたる市町村行政の基本を確立することが必要です。

このようなことから、全国の市町村では、国や県の指導もあ



……着々と進む草地造成事業……

り、各地域ごとの長期計画策定作業が開始されたわけです。この長期計画（正確には前述の地方自治法上で規定されている「基本構想」という。）こそが、市町村計画と呼ばれているものです。

2. 市町村計画作成にあたり

市町村計画というからには、村の全般的なことが取り上げられなければならない。

今までも、村にはさまざまな計画があります。その中で例えば、農業に関しては農業振興計画のように、各分野のみの計画を策定し、ある程度それを指針として行政を進めてきました。ところが、各計画が相競合する

という事態が生じ、住民の方々には、理解できにくいこともあつたかと思えます。

行政が実施しなければならぬ範囲も広がりつつあります。一つの事業が完成したら次に何をやるのか。それを実施すれば結果的にどうなるのかが示されないために、住民の要望が計画的に反映できない状況となりがちです。

このようなことから本村でも、

総合計画を策定する必要にせまられてきました。昭和五十五年度から計画策定に着手し、昭和五十六年度の当初に完了する予定です。

3. 計画の構成

市町村計画は地域の振興を図るために、将来の開発構想を樹立すること、村が行政を合理的に行う指針となる重要な性格を合わせもつています。そのためには、①基本構想、②基本計画、③実施計画の三つの計画で構成し、策定することになります。

4. 基本構想

基本構想は、村の将来の目標及び目標達成に必要な基本的施策を明らかにし、基本計画、実施計画の基礎となります。

この中では、市町村の施策だけでなく、国や県の施策も含めて検討を加えます。産業振興のための基盤整備、所得水準向上の施策、住民福祉の充実など、すべての基本的施策をもちこむこととなります。

計画の目標期間は、国や県のさまざまな計画期間のかね合いや、地域社会経済の変動を考慮し、十年間としています。

5. 基本計画

基本計画策定は、市町村行政の方向を明確にし、これに基づいて各部門ごとのより具体的施策や手段を組織的、体系的に調整するところに意義があります。

計画の期間は、具体的施策や手段を考慮した場合、あまりにも長期的に作成すると予測しにくい課題も発生します。計画の有効性が失われないうちに、基本計画は五年間とすることが、適当とされています。

6. 実施計画

実施計画は、基本計画で定められた市町村の施策を現実の行政の中で、どのように実施するかを明らかにする計画です。基本計画をより具体化し、詳細事項を補足すると同時に、市町村予算編成の指針となるものです。

基本計画の中で根幹的業務として明示されなかつた事業でも実施計画に掲げられる場合もあり、より詳細な事業計画となります。

計画期間は五年が適当とされ、毎年度見直しをしながら、事業の選択、入れ替えをして実施することが望ましいとされています。

総合的計画で村政を運営

村民のみなさま、新年おめでとうございます。一九八一年の新たな決意のもとに、老いも若きも力を結集して、郷土の発展につとめたいと存じます。



蓬田村長 森 初男

昨年は、七月以降の異常気象により、思いもよらぬじん大な被害をうけました。大凶作とな

った農家のみなさまに対し、心からお見舞い申し上げるしだいで

当村は特に米作中心であるため、その被害も惨たんたる状況であり、農家の心境も察するに余りあります。私は行政上の立場から、村として緊急に対応しなければならぬ点については、精いっぱい進めてきました。村財政上、できる限りの援助として、凶作対策費の補助金も補正予算に計上しています。この大凶作を契機に、冷害にも耐えることができる農業、無理やムダのない生活のくふうを、みなさ

まともに取りこんでいきたいと思えます。

村の事業面では、蓬田川災害復旧事業、モデル事業、草地造成による畜産振興事業が順調に進んでいます。特に村民希望の保育所が去る十二月二十三日に落成しました。これも、みなさまのご協力があったればこそと思います。

村政は、村民一人一人の幸せを守る事が原則であり、地方自治の本旨でもあります。村民の要望に対しては、できる限りのことはしているものの、時には、十分満足のいく措置をとれない場合もあります。それが町村長の限られた権限、財政等にあることは、村民のみなさまにも理解いただけると思えます。

最近では、政府でも非常に厳しい財政事情であり、そのしわ寄せが、町村にも影響しています。

このような中で、村民の幸せを最大限に願った行政を實行しようとするなら、合理的な計画のもとに、村政を運営していくことが必要です。我が村の所得政策として、米作と畜産や水産の複合経営、転作物の定着化、労働収益の向上を目指しています。行政一般については、役場職員一同、村民のみなさまとともに協力し、村行政の適正な運営をはかる所存です。

村民のみなさま、それぞれ一家むつまじく健康で、希望広がる幸せな年でありませうよう心から祈念し、年頭のあいさついたします。

情操豊かな子どもたち



教育長 武井一郎

一九八一年の新春を迎え、おめでとうございます。村民のみなさまには、過ぎし冷夏凶作を教訓に、御健勝のことと存じます。不肖身の上も願わず、昨年十月九日付けをもって、教育長

としての大任を仰せつかることになりました。

教育の目的は教育基本法に示されているように、平和的な国家社会の形成者として、真理と正義を愛する人格の完成を目指しています。それに、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじながら、自主的精神に満ちた、心身とも健康な国民を育成することにあります。

我が村の教育行政は、前任者の立派な業績により、決して他

町村に劣ることはありません。幼・小・中一校一校ずつの「教育立村」を実現している村でもあります。義務教育を始め、社会教育全般にわたり、それぞれの基本目標、重点施策、具体的な事業計画に変わりありませんが、今年には特に、昨年の凶作の影響を多少なりとも受けることのないよう念じているところで

す。

義務教育はもちろんのこと、生涯教育は極めて広範囲にわたります。これらの重大な責務を果たすためには、各関係機関のご指導を仰ぎながら、子ども会、

青年団、婦人会、高齢者に至るまで、各分野にわたり一致協力し、その効果を上げるものと確心しています。

最近には特に、青少年の健全育成が叫ばれています。交通事故や非行的問題行為を未然に防止するとともに、自主的学習活動の促進を図り、うるわしい情操豊かな村民性をはぐくんできたい所存です。

どうか、村民のみなさまの絶大なご支援とご協力をお願い申し上げます。最後に、みなさま方の幸せを心から祈念し、新年のあいさついたします。

7. 計画推進のために

市町村計画の策定主体は、蓬田村ですが、村政全般にわたる計画であるため、あらゆる団体、個人の協力のもとに策定するのでなければ、意義が失われる結果となります。したがって、単に現在の課題を解決するのではなく、住民の意思を反映させ、学識経験者の知識も吸収する必要があるあります。

まず第一に、村の将来の姿、進むべき方向など村の根本的問題解決のための計画策定会議（庁懇）を役場内に置きます。ここでは、村長、助役以下、各担当課長や担当者が、骨組みを作成します。

その後、各地域の住民からの意見聴取や各団体との計画調整を行い、広い理解と協力を求めることとなります。

ともかく、住みよい、明るい、豊かな村づくりを村民のみなさまとともに考え、実行していくことが、市町村計画の根本となります。

昭和五十六年の年頭にあたり、地域社会発展のため、この市町村計画に対しみなさま方のご理解と協力をお願いします。

(担当：総務課)

ムリ・ムダ・ミエのない 暮らしの見直しを

冠婚葬祭 合理化運動 を推進

蓬田村新生活運動 推進協議会を発足

村内の「冠婚葬祭」の様式は、年々上昇気味で、普通の年でさえ考え直しが必要だという声が出ていました。

それに加え、昭和五十五年は冷害による大凶作。これを機会に冠婚葬祭の合理化を呼びかけ、ムリ・ムダ・ミエのない生活改善運動を実践していこうと、蓬田村新生活運動推進協議会(会長・森初男)が発足しました。

これまでも、公民館方式による会費制結婚式や部落独自の会費制結婚式、見舞い返しの廃止などがいくたびも呼びかけられてきましたが、なかなか定着しなかったという経過があります。

実施要項

協議会では、これまでの問題点を検討しながら、現状に合った基準を定めようと、数回にわたる会議を開きました。その結果、次のように実施要項を決め、黄色い紙に印刷し全世帯に配布しています。

この運動の趣旨や内容を理解いただくとともに、農村では農村らしい良さを、蓬田村は蓬田らしい農村文化を取り入れた新生活運動を推進していくためにも、みなさんの協力をお願いします。

◎結婚

●披露宴の簡素化に重点をおく。披露宴の費用は会費制を本旨として、招待者の祝儀は七千円以内。これを互いに固く守る。

- 「はなむけ」は近親者以外廃止。
- 披露宴は三時間以内。
- 主催者は案内状に、祝儀が会費制であることを記載する。



会費制結婚式等の記念品見本例

●ペアコーヒーセット 1,700円	●津軽塗り夫婦バシ 1,800円
●救急セット 600円	●コーヒーセット 2,000円
●センヌキセット 950円	●敷ふとんカバー 2,000円
●銘々皿セット 2,000円	●雑炊セット 2,000円
●ホーローなべ 2,000円	●ゆかた 1,800円
●津軽塗り茶たく 2,000円	●シーツ 1,500円~2,000円
●見本は中央公民館に展示しています。	

招待者から受領した会費で披露宴の経費をまかなう。

- 結納金、新婦の持参品、記念写真、花嫁化粧代等は、双方話し合い、節約を本旨として取りかわす。
- 会費を料理、記念品、飲酒類その他の費用にあてる。
- 案内状に協議会長名をもつて、書面を同封する。(中央公民館備え付け)

◎葬祭

葬儀は当事者にとって大きな不幸です。これに要する経費も大きいと思われます。社会情勢に対応して簡素化の方向へ推進するため、次の事項を固く守りたい。

- 法要のつかいがある人は、香典を含めて七千円以内とする。
- 村内の一般香典は五百円以内。香典返しは廃止する。
- お通夜の酒類は廃止し、茶菓子とする。
- 花輪は花輪ポスターとする。花輪代として五千円以内を仏前に供える。その他の供え物は近親者に限り、五千円以内とする。

●祭壇は農協備え付けを使用する。

●葬儀及び法要の通知には、一筆（通知書）または口頭で会費制であることをつけ加える。

◎建前

●家主、一般からの記念品、祝儀の贈物は廃止。

●新築中などの、大工への茶菓接待を廃止する。

◎時間の厳守

●主催者側は開始、終了時刻を定めこれを守る。

●出席者は、開始時刻前に会場に入る。

◎祝・見舞

●祝・見舞は二千円以内とする。祝・見舞返しは廃止する。

●新造船の大漁祝旗の寄贈は、十枚以内とする。

◎周囲の清掃

●家庭や職場のまわりをきれいにする。

●道路、海岸、河川等にゴミを捨てない。清掃を相互話し合い、積極的に進める。

◎親切運動

●親切運動を積極的におしすすめる。

●心のこもったあいさつを交わしあう。

◎協議会の事務局は、中央公民館です。
(電話・二〇七六番)

むらの声を聞いてみました

冠婚葬祭合理化運動を推進しようという中で、住民の声をひろってみました。

「いくらきまりもうけても、だれか一人約束破れば、そのまま元にもどってしまおう。」

「見舞い返し廃止を部落で決めてうまくやっていますが、地区によって習慣が違います。村全体的にやめるのはいいことだし、守りたい。」

「会費制の結婚式やってみたが、あとで評判悪かった。引き出物などの点で、物足りなようだった。」

「会費制、カッコ悪い。」

「みんな、腹つえふりしても

まね。ケガズだことだし、合理化運動考えるいい機会だ。」

「このごろ、結婚式だろうが、新築祝だろうがみんな同じで、つるもんでね。程度越えていってると思う。」

「通夜の酒コ、少しはあってもいいと思う。亡き人しの中で、アレコレ語りあうのもいいもんだ。」

「きまりをつくっても、役員職員や村の先立ちの方が、きまりを守っていないじゃないか。」

というわけで、ある部分は賛成できても、一部分賛成できないなどさまざまです。

この合理化運動の実施要項は、村民の各層、各機関の代表者で推進協議会を組織し、地域住民の意向を反映させてつくったものです。合理化運動のひとつずつでも、村民の暮らしの中に定着してこそ、本物になっていきます。それには、私たちが本当にこの運動を必要とし、本気で取り組み協力するかどうかにかかっているようです。

◎冠婚葬祭の合理化についてあなたの意見を、総務課広報係にお寄せください。広報に掲載しながら、みんな考えていきたいと思えます。

◎葬祭

●お布施は葬儀10万円以内。35日は2万円以内。一周忌ほか3万円以内とする。

●受招待者の御供物料、御花料は、35日3千円以内。一周忌ほか5千円以内。いづれも菓子箱等を持参しない。当時はの贈り物は一周忌ほかは千円以内とする。



11月29日に開かれた推進協議会の会議では、新生活スタイルによる料理の見本が紹介され、検討しあいました。写真の料理は、手前が3,500円、そのうしろの方が3,000円のおぜんです。

蓬田村行政懇談会



住民の声を行政に

わが村の行政に対する意見や要望を、直接住民から聞く機会として、役場では毎年“行政懇談会”を実施しています。

去る11月21日、老人憩の家を会場に、各部落の区長、行政連絡員、部落役員、班長が一同に集まり、昭和55年度の行政懇談会が開かれました。参加者からは、村長、各課長に対し、活発な質問が出されました。主な質問と答弁は次のとおりです。

質問 中沢地区

中沢では裏道路ができて便利なのもあり、よく利用されている。ところが、高松さん付近から観音様まで杉林をかぶっている。夜間は外灯がないので、高校生が汽車を降りて帰宅の際は危険だと心配されている。ここに外燈二基設置してもらいたい。

答

各部落からごぞつて、外燈や防犯燈の要望が多い。防犯燈は年次計画で各部落に一基ずつ増設していくことになっている。新設費として、三万五千円村から出るのので、これで付けることができる。中沢と郷沢は位置が決まらず、未設置の状態です。

質問 蓬田地区

中沢のこの地区は電柱も必要なので、その点はもう少し検討し、良い方法をとりたい。

①蓬田部落は、他の部落にくらべ、護岸工事が遅れているように見える。浸食が激しいので、早期着工を望む。
②当地区は部落が長い。北部分面の武井照太郎宅から蓬田川までと、製材所北側にできた住宅地には防犯燈がない。三基増設願いたい。

③蓬田川の河川工事により、大型ダンプが農道を使用し、路肩を割って用水路をつぶしている。損壊の補修を必ずしてほしい。

答

護岸工事の件は、昭和五十七年度に蓬田工区着工の予定です。村内の護岸工事は、昭和五十八年度から五十九年度でほとんど完了します。以後は、かなり古くなった護岸の改修になります。

防犯燈については、年次計画で進めたいと思う。三基の中で一番先に必要だと思ふ場所を部落の方で指定してください。

河川工事による農道損壊については、河川工事そのものの工事費が大きいので、大型ダンプもかなり入っています。一時的には、パラスを入れて補修しています。路肩については最終的に、業者が責任をもって修復することになっています。

質問 瀬辺地区

①瀬辺地方面にも、通学道路を通してほしいが、国鉄用地などのカベもあり、なかなか着工にならない。払い下げを受けて早期着工できないものか。

②板木沢川が埋まってしまい、増水のたび、付近に被害を出している。川を掘削するなど、整備してもらいたい。

答

通学路を国鉄沿線にという要望ですが、元の森林軌道跡地の全面的払い下げは、これまでもかなり働きかけをしてきたが困難な状態です。村とし

てはまず、これからのいろいろな計画のために、国鉄用地との境をはっきりさせようとしています。

村では通学路というよりも、部落と部落をつなぐ連絡道路、産業道路を考えています。郷沢北部から高根までをつなぐ道路をつくるのができないものかと検討中です。これには、国の補助金制度や起債を利用できる農免道路の認可を得て着工できればと思います。

せっかく認可を得ても、地元の人々が用地買収に協力しなければ、事業を進めることができません。用地買収が終われば、事業の三分の二が完了したといわれるほど、重要なポイントです。将来、この事業に着手のときは、みなさまの協力をお願いします。

板木沢川の件は、護岸工事とまではいなくても、川を掘削し水路を広げ、付近に影響が出ないように配慮します。

質問 高根地区

①部落上流の国有林を伐採したため、少しの雨でも鉄砲水が発生し、田畑に影響を出しています。これに対し、高根の西ノ股川上流にダムを建設するよう要望します。

②広瀬部落から高根部落の田んぼの中に、たくさんの電柱が立

っているので、農作業に非常に不便を感じている。これを道路端へ移転するように、東北電力へ交渉願いたい。

③高根道路は、特にカーブの箇所へ外燈をつけてきてもらったが、まだ不足を感じます。中学校の生徒がクラブ活動後、暗くなってから帰ってくるので、私たちは非常に心配して帰りを待っています。もう数基外燈をつけてもらいたい。

答 国有林伐採については、営林署に乱伐防止をお願いしています。ダム建設の件は、すでに計画が進んでいて、昭和五十六年度に、西ノ股川に一箇所ダムを建設する予定です。十年計

画をたて、もう一箇所建設する計画もあります。

田んぼの電柱は、何本ぐらいいるか基本調査をしてみます。おおよそ、六十本から七十本あるのではと考えられます。これを村道の端に持つてくれば、外燈をつけるにも便利かと思えます。早い機会に東北電力と交渉し、不便解消につとめます。外燈については、電柱の移動を前提にして、設置を考えていきたい。

質問 その他

①広瀬川の護岸工事の今後の見通しはどうか。

②国道二八〇号線の広瀬橋山側に、歩道橋をつけてほしい。

③広瀬海岸の船揚げ場の改修はいつになるのか。

④中沢の無人駅に、自転車置き場をつけてほしい。

⑤村営マンションの建設予定はあるのか。

答 広瀬川の護岸工事については、川が二級河川なので県の管理になっている。融雪などにより災害が発生した場合でない限り護岸工事はないものと思う。

広瀬橋に歩道橋をつける件は、県のリストにものっているので、早急にとはいかないが、見通しは明るい。

広瀬の船揚げ場は、昭和四十四年度に県の工事として着工したもので、現在建設省が行っている工事とは格段の差があります。建設省の船揚げ場工事は、今年度で完了します。そのあと既設の船揚げ場改修に入り、広瀬は昭和五十九年ごろの見通しです。ここは少し離れて二つの船揚げ場があるので、改修工事の場合は、一つにまとめてくれるように合わせて要望しています。

中沢の無人駅に自転車置き場をということですが、四戸橋川の改修工事が始まるので、まだ場所を決めることができません。工事終了後でないで設置は困難です。

各課の連絡事項

◎総務課

役場では、交通災害共済保険の加入促進をはかっています。一日一円の安い掛金で、いざというとき役立ちます。昨年は村内で十二件、合計五十五万円の見舞金をうけています。

◎税務課

冷害に伴う税の減免については、当村の場合、共済金で八割補てんされるので、特殊な場合を除き減免はない。

◎民生課

毎週月曜日と金曜日は、民生課の窓口で「生活相談所」を開設しています。福祉事務所の職員が相談にのりますから、気軽においでください。

◎土木建設課

除雪の件は、タイヤショベルの小型を購入したので、狭い路地でも除雪可能になりました。村民のみなさんへお願いしたいことは、除雪後その雪をまた道路へ出さないように。

国道は、雪が五センチ以上降れば、十二月から除雪車が出ます。



……建設中の郷沢工区船揚げ場……



●第2回村民祭● ●村民総参加の祭りを●

11月23日～24日の2日間、蓬田中学校を会場に、第2回村民祭が開かれました。この祭りが“村民祭”と名をかえてから2年目。村民総参加の祭りにしようと、村内の各種団体がひとつになってアイデアを出しあいました。

交通安全を呼びかける仮装パレード。農業後継者の会では野菜や花の即売会。婦人会のバザー、生活工夫展や華道展。部落毎の演劇では、高齢者、婦人、子どもがいっしょに出演し、楽しい笑いをさそいました。

村民祭の中心となり動き回った青年たちは、この祭りを通して、村民の連帯と文化を掘り起こそうといっしょうけんめいでした。



話題の広場



▲持参の弁当、持参のお酒で簡素化結婚式。観客のみなさまも持参のコップで乾杯をどうぞ。(瀬辺地)

友愛バザーにご協力ありがとう

去る11月23日～24日に開かれた村民祭で、連合婦人は「第2回友愛バザー」を実施しました。村内のみなさまの温かいご協力で、24,920円の売上げがあり、さっそく歳末助け合いに寄付させていただきました。紙面を借りてみなさまに報告するとともに厚くお礼申し上げます。

この友愛バザーは、1人1点ずつ、を合言葉に、子どもたちの小さくなって着れない服や、同じ品物が何点もあり寄付してさしつかえない物を互いに持ちよって実施しました。それを会員相互で買いあうことにより、代金を歳末助け合いに寄付しようというものです。

これからの目標としては、おだやかな水面にボンと石を投げてできた輪が大きく広がるように、村内の母親クラブ、交通安全母の会、蓬青協女子会員、老人クラブのみなさんにも参加していただき、もっと大きな実のあるバザーにしたいものと考えています。

昨年は当村も冷害でたいへんでした。それでも、私たちより困っている方々へ少しでも手助けできた幸せを、みなさまとともに感謝したいと思います。

…蓬田村連合婦人会

♪ ———— 話題の広場 ———— ♪



▲中沢では村づくり運動で実施した「津軽ござん刺し講習会」の成果を作品にして展示。



蓬田小学校では、ゆとりある学校教育のひとつとして、田植えやイモを植えるなど、生産活動を伴う体験学習をしています。昨年は冷害でお米がとれませんでした。教育委員会やPTAのみなさんからいただいたもち米で、教育つき大会を開催。重いキネを持ち上げてついたおもちも特別おいしいおこしるこになりました。

もちつき大会！



村の発展に寄与 4人に村功勞表彰

昨年12月23日、永年村の発展に寄与してきた方々に村功勞表彰が贈られました。

◎功勞表彰

- 坂本繁男（中沢） ●津嶋源之助（蓬田）
- 山本兼光（蓬田） ●稲葉善助（高根）

◎善行表彰

- 川崎順一郎（蓬田中学校）

表彰を受けたみなさんは、部落長や行政連絡員・消防団長・人権擁護委員・社会教育委員・固定資産評価委員・農業委員として、部落の運営や、村のために地味な努力を重ね、協力してきた方々です。善行表彰の川崎さんは、ジュニアオリンピック全国大会で第3位という優秀な成績をおさめました。



▲晴れの栄誉に輝いたみなさん。

保育所と役場に絵画を寄贈くださった高比良昭光さんには、感謝状が贈られました。（右から2番目山谷さん代理）左から2番目の久慈さんは、稲葉善助さんの代理。

郷土の歴史

蓬田村文化財審議委員

倉谷 弘 孝

古代人の生活をさぐる①

近所の子どもが私のところに、石でつくられた矢じりを持ってきた。小学校付近の畑で拾ったらしい。手にとってみると、矢じりは黒光りをして黒曜石である。

蓬田小学校は少し小高い丘にあり、すぐそばには小館遺跡がある。ここは、アイヌ文化と平安文化の接触を示す、擦文土器が発掘された場所でもある。昭和四十六年に大がかりな遺跡発掘が進められ、本州文化と北海道文化の関係を解く手がかりとして、研究者たちの注目を浴びた。調査には、村当局、地元高校生も

応援し、かなりの成果をあげた。

子どもが持ってきた矢じりは、縄文時代の中期から後期（今から約五千年〜三千年前）に属するものである。蓬田村から出土する石器の材質は、ほとんどチャートできていく。これは北海道で多く産する黒曜石だから、この矢じり一つにも、当時の北海道と本州の人々が交易をしていたことがうかがえる。

縄文時代の人々は、川や清水の流れるところに沿った台地に「ムラ」をつくることが多い。当時は、動物を狩る狩猟と、木の実などをとる採集の生活をしてきた。石器は、この狩猟、採集には欠かせない重要な役割をはたしていた。縄文人は、イノシシ・シカ・ウサギなどをとるために、矢じりを先端に取り付けた、弓矢や槍をもって「ムラ」の裏山へ出かけた。男たちは、えものを背負って帰ることもあれば、反対にないときもあつたらう。

女たちは海で貝や海藻をとったり、山でクリ・クルミ・

ドングリなどをとった。採集した果実は、たたき台でカラを割り、石皿の上に実をのせてすりつぶしたり、焼いて食べた。

石器の作り方には、図のような三つの方法がある。この三つの方法を使って石器づくりに挑戦してみたが、なかなか思うようにいかなかった。昔の人の石器をつくる巧みさは、極度の必要性と長年の訓練により、石の性質について深い知識を身につけていたに違いない。

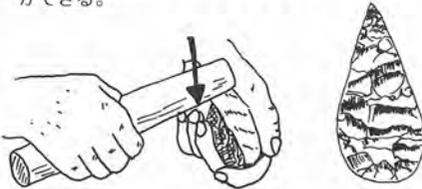
1. 石対石の技法

槌（つち）となる石を使い、石器用岩石のへりにそって、うしろの方から鋭い一撃を加える。この衝撃で、下の方から大きな石片がはがれ、深いく離面ができる。



2. 円筒技法

仕上げの段階に入ると、木か骨のハンマーで、石器のへりをくりかえしたく。この技法は、精巧で鋭くまっすぐな刃をつくることができる。



3. 加圧はく離

先のとがった木とか骨、石などの道具を使って、石器のへりにやや下向きに適当な圧力を加える。石器の下の方から、平たい石片をはがしとることができる。



▲小館遺跡から発掘した石器

住民の暮らしを守る

消防団活動

消防団は、消防組織法に基づき消防機関で、郷土愛の精神に支えられたボランティア的な組織です。

消防団員のほとんどは、他に自分の本業を持っていますが、火災などの緊急時には、住民の生命、身体、財産を守るために勇敢に行動します。

団員は、消防団長の指揮に従い、消火活動をはじめ、残火処理、被災者の救護にあたります。地震、風水害などの大災害の場合、率先して住民を守るためにはたります。

消防団の活動はこればかりでなく、野焼きや、祭りなどの行事の際には警戒にあたるなど、広い範囲にわたっています。

このように、消防団は私たちの安全な暮らしを守ってくれる貴重な存在です。とはいいながら、日稼ぎなどによる不在、職場と住まいが離れているため昼間は不在などの理由で、団員を志す人が少なくなっているのが現状です。

改めて、消防団活動の重要さと育成を、みんなで考えてみましょう。

ちよつとした心がけ

火の用心

私たちの生活に一日たりとも欠かせない石油は、暖房用として、石油製品として、幅広く使われています。

灯油などは、普通の状態では火がつきにくいのですが、霧状

になったり、布切れに浸すと、たいへん火がつきやすくなります。

冬期間はとくに家庭用暖房として灯油を使用する機会が多くなります。貯蔵や取り扱いには十分注意し、火災予防につとめましょう。

灯油などの保存方法

●火の近くでは、絶対に取り扱わないこと。

●漏れたり、あふれたりしないように。あふれたりしたときは、後始末をきちんと。

●日光の直射する場所には、置かないこと。

●危険物の保管場所は、常に整理、清掃につとめる。

火事を出すのも防ぐのも、ちよつとしたあなたの心がけしだいです。まずは火の用心。火の用心。

分団名	分団長	団員数
第1分団	吉田俊雄	25人
第2分団	工藤由光	24人
第3分団	八戸与一郎	24人
第4分団	宮田一郎	24人
第5分団	中川良次郎	21人
第6分団	田中博	25人
第7分団	柿崎勇蔵	23人
第8分団	久慈義弘	25人

いじめたり・いじめられたり

「なかよく遊びなさい」といくら注意しても、子どもたちの間では、いじめめる・いじめられるの関係はどうしても出てきます。

自分の子どもがいじめられてばかり、あるいはいじめられてばかりですと、間に入って口出ししたくなるのですが、一般には子どもたちだけに任せておくのが賢明な場合が多いようです。ただし、相手にケガをさせてしまったら、ケガをさせられたりする場合、「してはいけないこと」として、きつぱりやめさせましょう。

子どもは、いじめたり、いじめられたりといった遊びを通して、人とのつき合い方を学べます。

自分の子どもがいじめられるからといって、友だちから引き離すことは場合にもよりますが考えものです。いじわるをされても、それにくじけず仲間に加わろうとする子どもは、ある面ではたくましく、人のことを思いやる、リーダー的存在に育つことが多いといわれます。「いじめられた」と泣いて帰っても、ケガがないときは、あまり干渉しない方がよいでしょう。

一方、弱い者いじめをする子どもには、「かわいがられない」という欲求が満たされていないことが多い、それが逆の面に出て、いじわるとなることがあるようです。

この場合、ただしかつてみたところで効果はありません。自分がかわいがられていることを感じさせるなど、お母さんのやさしい愛情が必要でしょう。

いじめっ子には、他人への思いやりを育てていくようにしたいものです。



わんぱく
大将

No. 1

保健婦さんの 相談室

ねたきり病人の 看護法(1)

わかっていようで案外わかっていないもの、それは病人の看護のしかたではないでしょうか。主婦は家族の健康管理の責任者であり、病人が出た場合の看護も主婦の手にゆだねられます。いざというとき、あわてずに適切な看護ができるように、基本的な家庭看護の知識を身につけましょう。

からだを清潔にすることは、健康な人にも病人にもたいせつなことです。病人にとつて、からだをふいてもらったり髪をとかしてもらおうのは、単調な生活の中で楽しみとなります。

からだのふき方

お風呂に入れない病人には、からだをふいてあげましょう。血液の循環がよくなり、食欲もすすみ、よく眠れるようになります。全身を毎日ふくことが困難であれば、背部、上半身、下半身など分けてふきます。

からだのふき方

- ① 手がやっと入るくらいの熱い湯を準備する。
- ② 掛物を一枚にして、病人を手に寄せ、ぬまきを脱がせる。
- ③ 皮膚の状態を観察しながら、顔・頸部・腕・胸・腹・足・

背中・腰・殿部・陰部の順にふく。

④ タオルにせつけんをつけてふく。次に二〜三度すすいで、せつけんをふきとる。平均した圧力で大きくふくと気持ちよよい。最後にバスタオルでよく水分をふきとる。洗面器の湯は何回も新しくとりかえる。

⑤ 背中は病人を横向きか腹ばいにしてふく。背中のマッサージは図のように、背骨に沿って肩までなであげ、右と左にラセン形を描きながら、なでおろす。

⑥ 陰部はきれいな湯でしぼったタオルを病人に渡し、自分でふく。できない場合にはふいてあげましょう。

国民健康保険と交通事故

「示談に注意」

交通事故による医療費は、本来加害者に支払ってもらうこととなります。ところが、加害者がすぐに損害賠償をしてくれないときには、国保係に届出をすると、国保で治療を受けることができます。

この場合、国保からの給付はあくまでも一時の立て替えです。ケガが治れば、役場では加害者等に医療費を請求することになります。加害者との間で示談を結ぶときは、必ず国保係に相談してください。被示談が行われると一般に、被

害者と国保はそれ以後示談の内容に従わなければなりません。

例えば示談書に、医療費は国保を使うというような内容をもりこむと、示談成立以後は加害者に医療費の請求ができなくなる場合もあります。こんなときは、被害者自身に思いがけない医療費を背負わせることとなります。安易な示談には気をつけてください。

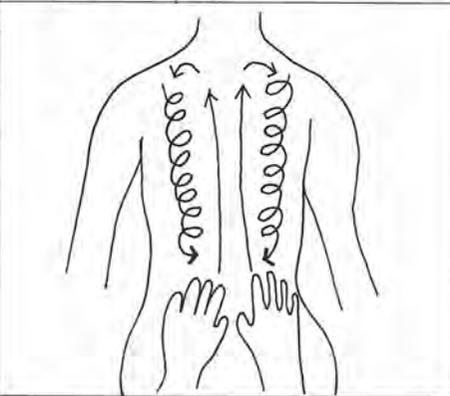
準備するもの



からだのふき方



背中のマッサージ



国の進学ローンご案内

春の高校・大学等の進学受験期が迫ってきました。国民金融公庫では、「国の進学ローン」として、進学に必要な資金の融資を行っています。

- 利用できる方……高校、大学等に進学する方の父母、または本人（勤労学生などに限る。）
- 融資額……1世帯当たり50万円以内。
- 融資期間……高校3年以内。大学4年以内。
- 利息……ご利用時の基準金利。
(昭和55年12月現在年8.8%)
- 保証人……1名以上。
- 返済方法……毎月元利均等返済。希望により、ボーナス月増額返済もできる。
- 収入制限……給与所得者 年530万円以内。
事業所得者 年380万円以内。
- 取扱い期間……昭和56年1月～昭和56年4月
- 問い合わせ……国民金融公庫青森支店
☎0177 (23) 2331
(進学ローン係)

ヤング メッセージ No.16



○瀬辺地 (24歳)

木村先雄

蓬田村に生れ育ち二十四年間。途中、高校を卒業して東京に就職しましたが、家庭の事情により三年で蓬田村に帰って来ました。私も今流行のUターン青年の一人です。

村に帰って来て私の気を引いたのは、青年団活動でした。自分が住んでいる村の若者たちは、今どんな活動をしているのか？ということに興味を感じたので、一年間の青年団活動を顧みる

二十一世紀に向けて...



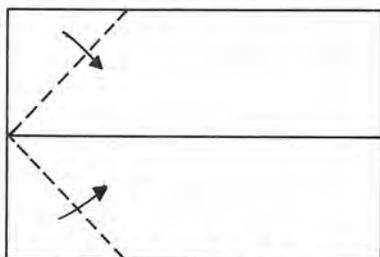
談話室

中で、私たち独自の文化を作り出すために、村民が一丸となつて行える文化的な祭りが必要という声が出された。これまでの青年祭から村民祭に名を改めた趣旨がここにある。

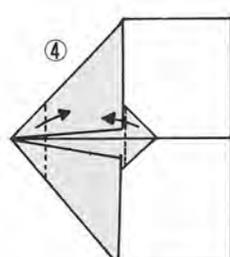
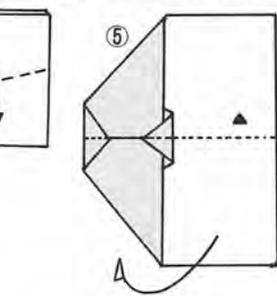
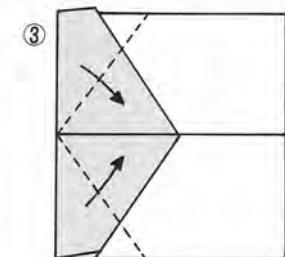
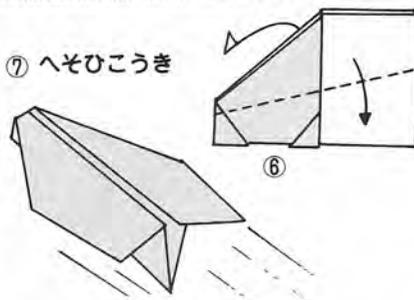
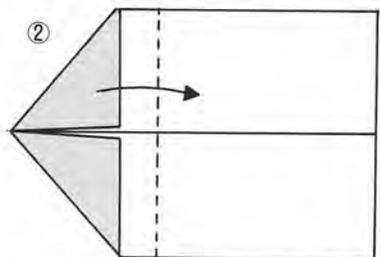
青年団活動を通じて自分なりに感じることは、一人一人が一致団結し力を合わせなければ、何事も成しえないということでした。ところが、今の若者たちは目先や流行にとらわれて行動しているようです。テレビや新聞紙上で若者の非行問題が毎日のように騒がれています。私はこういう若者たちに青年団活動を通じて、今、若者は何をすべきか？を考えてほしいのです。

私たち若者は次代の担い手なのです。私たちの未来をすばらしいものにするか、つまらないものにするかは青春の過ごし方にあると思います。青年団活動の中でたくさん仲間とふれあいをもち、心身ともに磨きあっていければすばらしいと思います。

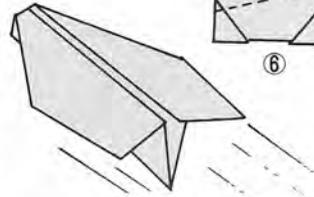
私自身青年団活動に参加して多少なりとも蓬田村について考えるようになりました。今の若者たちに望むことは、自分たちの故郷である蓬田村をもう一度見つめてほしいということです。若者よ、我々は手を取りあつて、二十一世紀に向かって羽ばたこう！



① 長方形の紙でつくります



⑦ ヘソひこうき



親子でつくろひょう・紙飛行機 ②

子ども会通信—No.5

阿弥陀川子ども会



会長

森 雅人

ぼくら、阿弥陀川子ども会では、四月から現在まで、これといった特色ある活動は、あまりやりませんでした。だから、あまり活発な子ども会とは言えません。

それでも、球技やスポーツの面では、すばらしくがんばったと思います。交通安全駅伝大会では優勝し、球技大会では、男子は野球で接戦の末惜しくも敗れましたが、女子はドッチボールで優勝してくれました。これから卓球大会がありますから、それにも精いっぱいがんばろうと思っています。

話がかかりますが、ぼくが

阿弥陀川子ども会をみて、感じるものが一つあります。それは、なにか行事があるたびに、「出たい人は？」と聞くと、少しのししか手をあげてくれないことです。もっと積極的になってもらいたいと思います。

ところが、積極的に参加してくれたことがあります。それは、バス遠足のときでした。場所は南田温泉です。みんな楽しく屋外プールで泳いだり、ダンスショーを見たりしました。とても楽しかったと思います。特に、中学二年生から小学三年生の小さい子どもまで、みんないっしょに楽しめたのが一番良かったと思います。このバス遠足の中でちょっとかわったことがあります。それは瀬辺地子ども会といっしょに行ったことです。このような行事も、案外いいなあと考えています。

ぼくらは今、クリスマス会や冬休みの行事を計画中です。特にクリスマス会は、とびきり楽しくやりたいと思っています。

○とびきり楽しい冬休みに

ガンバレ子ども会

阿弥陀川子ども会
世話人 森 ちぎ

No.5

先輩の方々から世話人会の引き継ぎをうけて以来、世話人のみなさんのご協力で今日まで来ました。それなりに、子どもたちの成長には、本当に感心させられます。

私たちの部落では、子ども会には、小学三年生から中学二年生までが会員です。現在五十数名。その子どもたちの父母が世話人になります。

行事をするにも、連合と連

絡をとりながら、夏休み、冬休みを利用し、夏はバス旅行、冬はクリスマス大会、その他子ども会の要求に応じて行っています。連合で行うリーダー研修には、初級・中級・上級があり、学年によって参加しています。子どもたちは研修で学んだことを、友だちと相談しあって、子どもなりに集いをもっていきます。

私が世話人として誇りに思うことは、昨年子ども会卓球大会初優勝と交通安全駅伝大会で優勝したこと。それに、やればできるという自信と協力、後輩をリードする力をみせてくれたことです。

蓬田村子ども会育成連絡協議会が発足してからは、各部落の世話人の協力も得ながら、子どもたちの健全育成を目指して、互いに地域の子どもたちに目を配っています。

私は世話人として、子どもたちの姿を見てきましたが、集団の仲間に入るゲームをやるときは、自分も子どもになりきることだと感じました。今後も研修を重ね、何かしらを学び、地域発展のためがんばるつもりです。どうかみなさんのご協力を、お願いいたします。



……みんなで年賀状版画教室に参加しました……

「わが家の家計簿」体験談募集

資源、エネルギーの制約下暮らしを見直す手段として、家計簿の活用は、ますます重要になってきました。

貯蓄増強中央委員会では、あなたが家計簿を通じて体験し、感じたことを文章でつづる体験談を募集中です。あなたの貴重な体験を、新しく家計簿をつけようとしている方や、家計簿の活用に努力している方々の参考にしてあげてください。

募集内容

- 家計簿をつけはじめた動機と記帳上の苦心や工夫
- 家計簿を継続してつける工夫や家族の協力
- 家計簿で発見したムリやム

戸籍の窓



(蓬田村の人口：4,526人)

10月・11月受付分

◎お誕生おめでとうございます。

- 川崎 雄二 (一彦・2男)
- 永澤 涼子 (勝幸・2女)
- 福田 和子 (伸一・長女)
- 田中 元子 (悟・長女)
- 田中 貴子 (進・長女)
- 稲葉 美咲 (誠・長女)
- 宮田 誠二 (一男・長男)
- 佐井 理幸 (良百生・長男)
- 川内 栄子 (義昭・長女)
- 川内 淳史 (孝吉・長男)
- 越田 さやか (正美・長女)
- 中村 勇輝 (賢・3男)
- 武井 和也 (仁・長男)
- 畠山 浩二 (利逸・2男)
- 村上 真美 (与志一・2女)
- 村上 珠美 (与志一・3女)
- 小鹿 拓 (重一・2男)
- 八戸 あゆみ (知賀雄・2女)

◎ご結婚おめでとうございます

- (工藤 崇 (中沢)
- (清野 新子 (鯉ヶ沢)
- (小鹿 正博 (長科)
- (藤本 春子 (長科)
- (工藤 正人 (長科)
- (出町 秀子 (浪岡町)
- (島田 宏志 (群馬県)
- (八戸 文枝 (阿弥陀川)
- (森 岩夫 (青森市)
- (松本 あき (六ヶ所村)
- (小鹿 博二 (長科)
- (蝦名 幸子 (平内町)
- (張山 紀昭 (青森市)
- (木村 茂子 (瀬辺地)
- (伊織 秀樹 (富山県)
- (田畑江 美子 (長科)
- (武井 義明 (蓬田)
- (鈴木 美子 (青森市)
- (細瀬 静雄 (埼玉県)
- (吉田 八千代 (広瀬)
- (木浪 敬司 (蟹田町)
- (青木 智子 (阿弥陀川)
- (森 康純 (阿弥陀川)
- (小熊 靖恵 (栃木県)
- (小鹿 政光 (長科)
- (藤巻 文子 (今別町)
- (中井 新一 (千葉県)
- (小松 千恵子 (阿弥陀川)

グとその改善
●家計簿で予算生活をした結果、生活の仕方に変化した。
●家計簿をもとにした生活設計
●これらの過程でみとめられる子どもへの教育効果
●グループによる家計簿記帳の勉強ぶり

原稿

- 1.本文は四百字詰原稿用紙五枚以内。本文のほか、月別・項目別支出一覧表を添付する。(内容がわかるものであれば、簡単なもので結構です)
- 2.作品は未発表のものに限ります。

- 3.原稿には
・応募者の氏名(ふりがなをつける)
 - ・住所(郵便番号をつける)
 - ・職業・年齢
 - ・同一家計で暮らす家族一覧(応募者との続柄・年齢・職業・就学状況など)
 - ・家計簿記帳年数
 - ・連絡電話番号を必ず記載する。
- 4.封筒の表面に「家計簿体験談」と明記する。

入選

- ・特選 五編 賞金各五万円
 - ・秀作 十編 賞金各三万円
 - ・佳作 三十五編程度 賞金各一万円
- ◎募集期間 昭和五十六年二月二十八日が締切りです。
- ◎送付先 青森市長島一丁目 青森県庁 消費流通課内 青森県貯蓄推進委員会

11月行事予定表

- 5日 御用始め
- 8日 書きぞめ大会
- 12日 会場・蓬中体育館
- 13日 16ミリ映写技師講習会
- 14日 会場・中央公民館
- 16日 タコづくりに講習会
- 16日 会場・中央公民館
- 16日 子ども会スキー大会
- 会場・村営牧場
- ◎公衆浴場休業日
- 12月31日～1月2日まで
- ◎ごみ収集休業日
- 12月31日～1月4日まで



◎お悔み申し上げます

- 永沢 タエ (68歳・長科)
- 山館喜一郎 (67歳・瀬辺地)
- 吉田喜代松 (73歳・中沢)
- 中村 シゲ (71歳・蓬田)
- 越田作太郎 (67歳・広瀬)
- 坂本 由吉 (73歳・中沢)

あとかぎ

小学校のもちつき大会に出かけました。きねとすを使ったもちつきは、一般の家庭でさえ、近ごろでは珍しいことでしょう。ベタンコ、サツサ(あいどりの手の動作)、ベタンコ、サツサで、一足早い正月気分を味わいましたが、お宅ではこの前まであったきねとす、どうしていますか？